



上島町

# 議会だより

令和7年

3月号

Vol.78

## 主な内容

- ・ P 2 臨時議会
- ・ P 3～5 全員協議会
- ・ P 6～12 12月定例会
- ・ P 13～14 議案審議
- ・ P 15 議員協議会

# 令和6年第2回 臨時議会

日時：令和6年11月15日  
場所：弓削総合庁舎3階議場  
出席議員：12名（欠席0名）

令和6年11月の上島町町長選挙、議会議員選挙の改選後初めての議会です。主に議長・副議長・常任委員会委員が選任されました。

議長、副議長の選挙について

地方自治法第118条第2項の規定により指名推薦によって、議長に前田省二議員、副議長に蔵谷重文議員が当選されました。

常任委員会委員の選任について

委員会条例第6条第1項の規定により議長より指名されました。（◎委員長 ○副委員長）

## 総務文教厚生委員会

- ◎徳永貴久 議員
- 尾藤俊輔 議員
- 前田省二 議員
- 本田志摩 議員
- 徳岡誠 議員
- 宮畑周平 議員

## 産業建設委員会

- ◎蔵谷重文 議員
- 上村健太 議員
- 濱田高嘉 議員
- 亀井文雄 議員
- 藤田徹也 議員
- 濱田和保 議員

## 議会広報委員会

- ◎藤田徹也 議員
- 宮畑周平 議員
- 前田省二 議員
- 徳永貴久 議員
- 本田志摩 議員
- 尾藤俊輔 議員

## 予算決算委員会

- ◎徳永貴久 議員
  - 徳岡誠 議員
- ほか、議長を除く全議員

## 議会運営委員会

- ◎藤田徹也 議員
- 濱田高嘉 議員
- 亀井文雄 議員
- 濱田和保 議員
- 上村健太 議員
- 徳岡誠 議員

## 選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

地方自治法第118条2項の規定により、議長によって指名推薦された以下の各氏が当選

されました。

柏原賞子氏、古本正氏、村上貴延氏、大林清孝氏

選挙管理委員会補充員には、同じく議長によって指名推薦された以下の各氏が当選されました。

幸本郁夫氏、岡本圭一氏、松崎幸正氏、中村一義氏

議案第80号 専決処分承認を求めることについて  
全会一致により承認。

議案第81号 上島町監査委員の選任について  
議会側から推薦された徳永貴久議員が選任されました。

愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

地方自治法第118条2項の規定により、議長によって指名推薦された上村俊之町長が当選されました。

# 令和6年第4回 全員協議会

日時：令和6年12月3日  
場所：弓削総合庁舎3階議場  
出席議員：12名（欠席0名）

12月定例会前に行われた全員協議会では、定例会に提出する議案説明のほか、協議事項として水辺の賑わい空間整備構想についての説明と協議、報告事項としてデマンド交通導入計画の経過など3件が報告されました。

## 協議事項

**水辺の賑わい空間（ヨット等係留施設）整備構想について**

【解説】町は町内経済の活性化、持続的発展を目指して、弓削港に「水辺の賑わい空間」を整備する構想を立案中。構想では世界の富裕層が所有するスーパーヨット（長さ24m以上）を誘致、係留する施設を想定。

【議員】この事業は町のあり方に大きく影響すると思われる。係留施設単体で考えるのではなく、町全体のまちづくり構想という大きなコンセプトの中で丁寧に検討すべきです。

【理事者】計画が進めば町の将来を占う施設になります。造ることが目的ではなく、町がどう発展していくか、という目的を見失わないよう協議を進めていきたい考えです。

【議員】スーパーヨット対応施設とするならば、多言語対応やセキュリティなどソフト面の充実も視野に収支計画を立てても

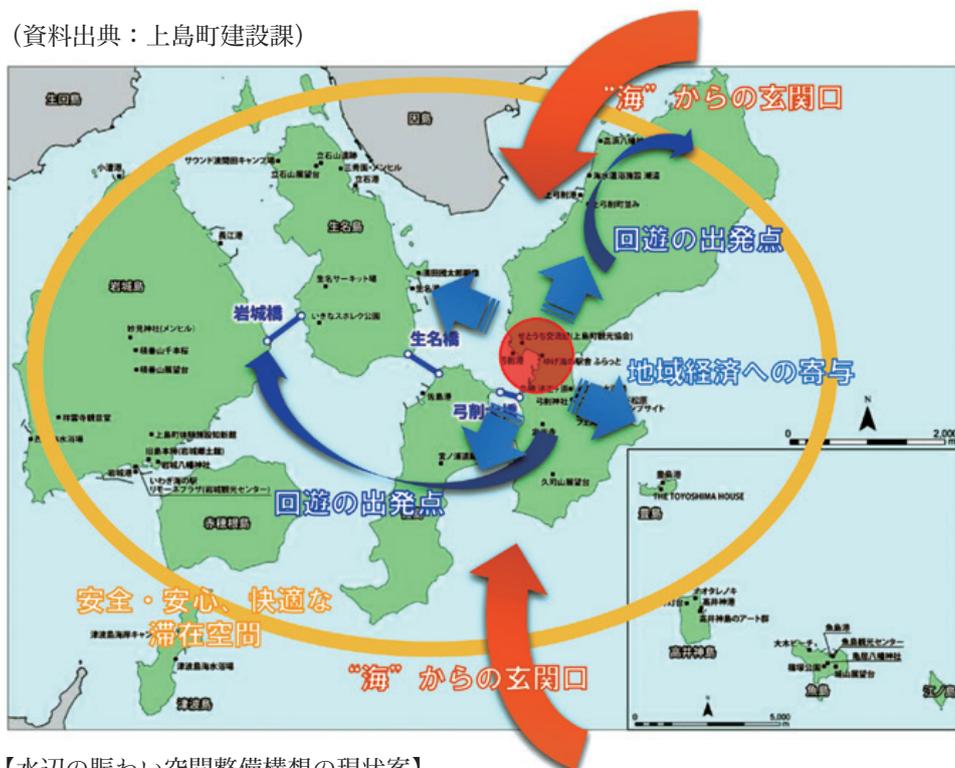
らいたいと思います。

【理事者】世界各国の富裕層の方々もターゲットとして捉えており、多言語対応などさまざまな国の方々との交流が始まるような施設と考えています。

【議員】どの程度の規模の施設を考えていますか。

【理事者】現状、水辺の賑わい空間としてヨット係留施設を計画していきたいという段階です。

（資料出典：上島町建設課）



【水辺の賑わい空間整備構想の現状案】

- 基本理念 瀬戸内海のだ真ん中に位置する「島」と「海」を結ぶ賑わい空間の形成
- 整備方針
  - ① 離島だからこそ、あらゆる船を受入れる玄関口の形成
  - ② 島の回遊を促す拠点の形成
  - ③ 安全・安心、快適な「海」と「島」の滞在空間の形成

**報告事項**

**デマンド交通の導入について**

【解説】 町は令和7年8月からデマンド交通の導入を予定。当初は上弓削地区〜下弓削地区、岩城地区〜立石港の区間で導入し、成果をみて他地区へも展開する計画を検討中。

【議員】 将来的に現在の路線バスをやめデマンド交通で一本化する方向ですか。

【理事者】 当面は現在の幹線と並行して運行します。デマンドの状況を見て、将来的には魚島地区を除く町内全域へ広げるとも視野に、町民にとってより良い交通網を構築します。

【議員】 7人乗り車両を選んだ理由はなんですか。

【理事者】 少しでも多くの人を同時に運べ、かつ狭い所でも行きやすい車両として7人乗り車両を選定しています。

【議員】 月額3千円の根拠は。この金額で委託事業者の事業が成り立ちますか。

【理事者】 片道400円、往復800円を週1回利用するよりもお得というところで金額を設定しています。事業者は運行委託のみを行い、料金収入は町に入ります。この金額では採算を取るの難しいですが、町民の移動手段の確保が目的の事業であり赤字はやむを得ません。

【議員】 予約の方法など分からない住民も多いと考えられます。住民説明会の充実と簡単な予約方法の導入をお願いしたい。

【議員】 どんな方が利用する想定ですか。

【理事者】 エリア内住民を、特に高齢者の利用を想定しています。観光客の利用も可能です。

**報告事項**

**弓削斎場の廃止について**

【解説】 現在、町内に斎場は弓削・岩城・生名地区に合計3カ所あり、多い日で火葬数は合計6件（1斎場2件）。近年は年間およそ100件と供給は十



使用を想定する車両のイメージ写真  
(資料出典：上島町公営事業課)

運営主体	上島町	主体は行政。地域の皆さんと良くコミュニケーションを取り、一緒に創りあげます。
乗降形態	ドアツードア	自宅での乗降を可能にします。目的地となる乗降場所も柔軟に設置します。
運行経路	設定なし	予約に合わせて最短距離を走行します。
時刻表	設定なし	運行時間内は、予約に合わせて最適な運行を行います。
車両	小さめの車両	なるべく細い道まで入れるよう、7人乗り程度の車両を用意します。
運行日	平日	土日祝・GW・お盆・年末年始は運休とします。年間240日運行を目安とします。
運行時間	午前9時～午後4時	午前9時に運行を始め、最終の利用者が午後4時までに利用を終えられるよう運営します。
利用料金	従量制と定額制を併用	従量制として1回400円。定額制として月3,000円乗り放題とします。
予約方法	電話及びWeb	電話で2週間前から30分前まで予約できます。Web予約も可能です。

デマンド交通設計の骨格 (資料出典：上島町公営事業課)

分。

令和6年4月から10月までの半年間でやすらぎ苑（生名）49件、弓削斎場8件、天翔苑（岩城）1件で、1日最大2件。1斎場減らしても運営に影響はなく、設置年数などから老朽化した弓削斎場を廃止する方向。関連する条例の一部改正を令和7年3月定例会に上程予定。

やすらぎ苑（生名）を主とし、緊急時には天翔苑（岩城）を使用する斎場運営を進める。

「議員」 廃止後、建物や跡地を  
活用する考えはありますか。

「理事者」 具体的な計画はありませんが、現建物の解体を含め跡地の有効活用を検討します。

**報告事項**

**上島町造船振興計画について**

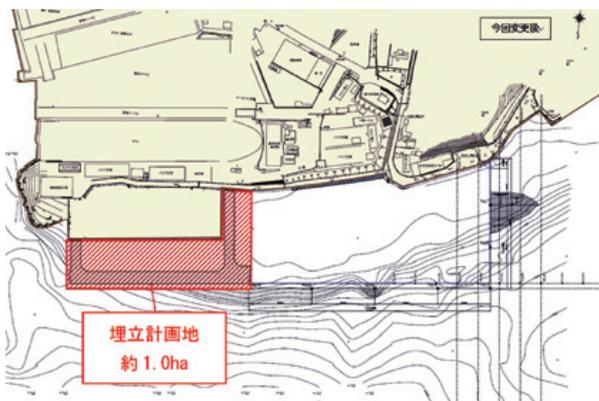
【解説】 第2期上島町造船振興計画（平成27年策定）を次のように変更。

①平成29年3月に関係者間の協議が整わず保留、延期となつて

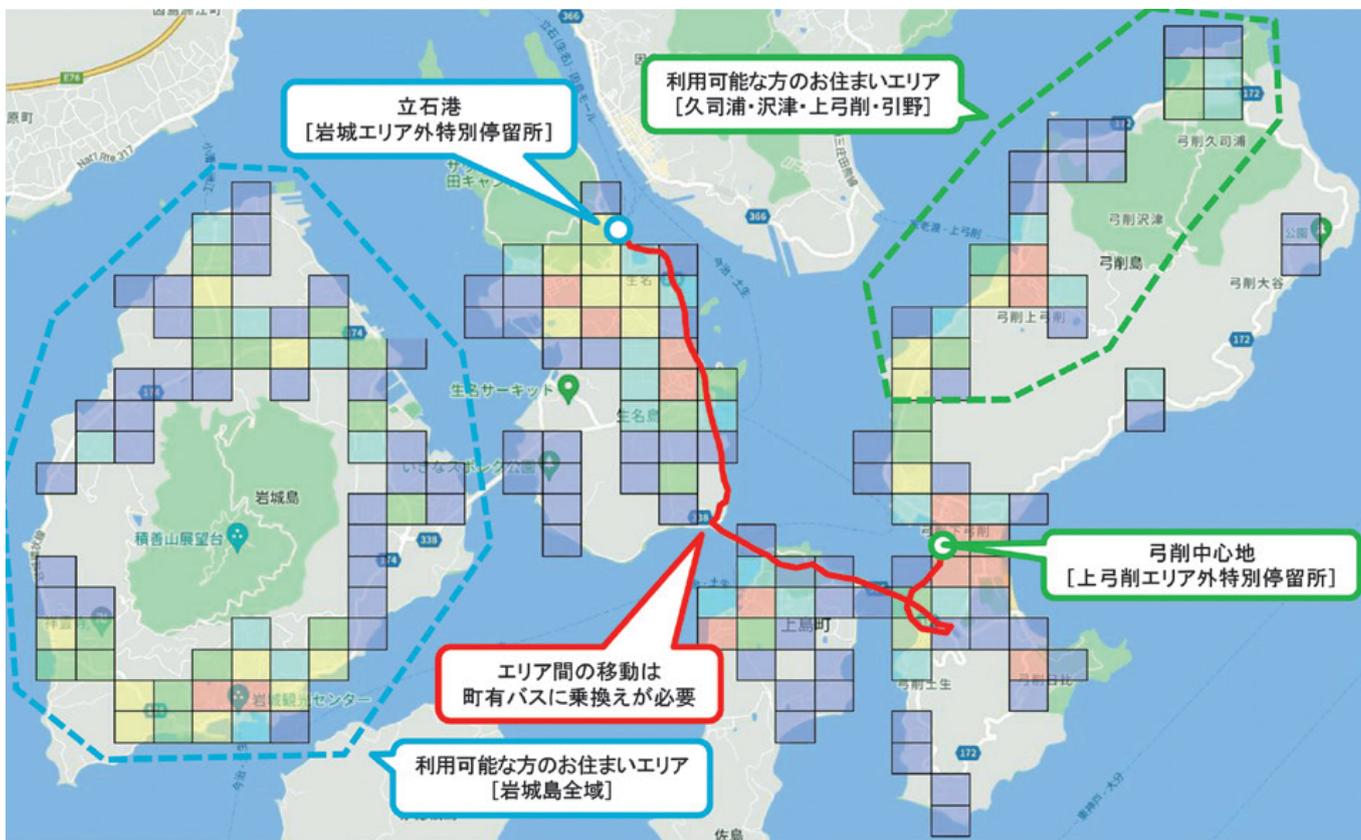
いたものを埋立計画変更(下図)  
②計画変更の決議後、令和8年度の着工に向け公有水面埋立申請予定

「議員」 平成29年に町が相当の金額を支出し調査しましたが、造船所の都合で変更したのであれば企業も責任を持つべきでは。

「理事者」 さまざまな団体、自治体との協議が整わなかった結果であり、造船所の都合だけではありません。



(図) 埋立て艦装岸壁を新設する計画



デマンド交通エリア図（資料出典：上島町公営事業課）

令和6年

# 12月定例会

日時：令和6年12月10日  
場所：弓削総合庁舎3階議場  
出席議員：11名（欠席1名）

改選で議員の顔ぶれが大きく変わりました。5名の新人を含む6名の議員が一般質問に登壇し、町政の方針を問いました。また合計15の議案につき審議、採決が行われました。※次ページ以降の一般質問原稿は議事録をもとに質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。議事録は町ホームページに全文が掲載されています。

## 【一般質問】

——藤田 徹也 議員——

「保育料無償化について」

——宮畑 周平 議員——

「町内保育所の統合ビジョンについて」

——濱田 和保 議員——

「上島町の現在の財政状況は？」

——徳岡 誠 議員——

「上島町と弓削商船高専の連携について」

「小学校から高専生を対象とする政策について」

——本田 志摩 議員——

「来年8月のデマンド交通始動に伴う、町有バス幹線再編について改善策をお示してください」

——尾藤 俊輔 議員——

「企業誘致をはじめとする産業振興策について」

「選挙公報及び啓発活動について」

## 【議案審議】

上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例から上島町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ほか15件





一般質問1 番目  
藤田 徹也 議員

## 保育料無償化について

〔藤田〕 上村町長の選挙公約にも掲げられている「保育料無償化」について質問します。財源の確保も含め、いつ、どのような形で具現化するのか、具体的な構想があればお示しくください。

ん、財源として過疎対策事業債の活用を検討しています。

〔藤田〕 保育料無償化は一日も早く具現化しなくてはいけないと思っています。私の目指すところは、送迎付き完全無償化になりますが、その必須条件は保育園の統合になります。少子高齢化に伴う人口減少が急速に加速する中で合理化、効率化を図らなくてはいけないと思います。

先の上島町の政策に大きくつながってくるのではないのでしょうか。

この点について町長はどうお考えかお示しくください。

〔町長〕 財政的、制度的な制約もあり慎重に考え、議会とともに検討していかなければなりません。ご提案の完全無償化が理想ではありますが、今現在では段階を踏んで行うべきだと思います。

送迎に関しては、保護者が責任をもつて行うルールになっておりますので、引き続き堅持していきたいと思っています。食事に關しては、保護者が責任をもつて提供して頂くというように考えています。

今の段階では、保育料を無償化するというところからスタートさせて頂けたらと思っております。

〔藤田〕 保育園の統合は、上島町の近い将来を切り開く起点になる第一歩だと考えています。

行政、議会ともに知恵を出し合い、互いを尊重し、一日も早い具現化を目指していかなくてはなりません。

いずれ町長の政治判断が必要となつてまいります。この点について、心の内をお聞かせください。

〔町長〕 保育園に關して目指す方向は、藤田議員のお考えと同じだと思っております。ただ、段階を踏む必要があるのではないかと思っております。

一番は子供たちの事を考えなくてはいけないということ。次には、財政状況も考えなければならぬということ。

今、予算編成をしておりますが、各担当課からの要望の額と町が持っているお金に開きがございます。

どうやって財政を組み立てていくのが本当に難しいところがございますので、徐々に対応させていただきますと思っております。



一般質問 2 番目  
宮畑 周平 議員

## 町内保育所の統合 ビジョンについて

「宮畑」保育所の統合を巡る保護者の不安が高まっています。

町は令和 6 年度内に保育所統合の方針を決定する予定としておりますが、進展が見られないなか、**先行きの不透明さが保護者の不安のもとになって**います。私自身が「子ども・子育て会議」の座長として関わった経験から、この課題について特に注視しており、**同時に町の教育の将来像を決める重要なテーマだと認識**しています。そこで、保育所統合に関する現時点での

町のビジョンを尋ねます。

「健康福祉部長」 保育所統廃合については協議が続いており、**令和 6 年度中に方向性を示す目標**です。保育所の統廃合を考えた時、妊娠、出産から保育所、小中学校、高校を出て自立するまでの間、**上島町ならではの環境を整えるため、関係機関と連携**し行なっていく考えです。

「宮畑」わかりました。一方で、わが町では保育所の統合だけでなく、数年前に小中学校の統合議論もありました。それについても現在どのような状況になっているかご説明ください。  
「学校教育課長」令和 4 年度に

出された「学校の在り方検討委員会」の答申に基づき、魚島小中学校は存続、高井神小中学校は廃校、弓削小中学校・生名小中学校・岩城小中学校は現状維持となっています。

また、**令和 7 年度には再度学校の在り方を検討する委員会を立ち上げ、保育所の動向も考慮して適正配置を協議**します。

「宮畑」保育所は住民課、小中学校は教育委員会それぞれ別々に議論されています。一方で保護者にとって保育所と小中学校は連続した子育ての中にあり密接な関係があります。**こうしたことから保育所と小中学校の配置計画は統一的に設計されるべきで、この際住民課と教育委員会が共同で議論する場を設けては。町長、教育長のお考えはいかがですか。**  
「町長」教育委員会と住民課が両者単独ではなく、子どもたちのために協力して協議を進めるべきだと認識しており、両者が

連携していくように指示しています。

まずは**保育所の方向性を決め、次に小中学校の統合議論に進むべき**だと考えます。**6 年度内に保育所統合の議論を進めていくことが重要**です。

「教育長」学校の在り方については関係機関と連携し、環境の変化に迅速に対応していきま

す。議論を尽くすことが大切だと考えています。  
「宮畑」まずは子どもたちのため、そして保護者の思いにも配慮していただきたい。保育所と小中学校の統合は、上島町らしい教育を一から組み立てることができるチャンスです。**それが魅力になっていくと移住定住政策にもつながると考え**ます。  
町長と教育長は強いリーダーシップを発揮し、この議論を引っ張っていただきますようお願いいたします。



一般質問 3 番目

濱田 和保 議員

## 上島町の現在の 財政状況は？

〔濱田〕 私は町の施策におけるお金の使われ方を大変心配しています。新聞などの報道によれば上島町の財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、独自の新たな事業を行う余裕がない水準で、また住民一人当たりの借金も愛媛県下20市町で一番多く、将来予測では上島町は自治体消滅の可能性ありと示唆されています。上島町の将来が心配な町民に対して「上島町はまだ健全だ」という根拠を、わかりやすいように説明を求めます。

〔総務部長〕 住民一人当たりの借金は、最新のデータでは愛媛県下20市町で最下位ではありません。また人口規模にもよるところがあり、借金が多いということだけでは町の財政状況を判断できません。根拠となる財政健全化判断比率及び資金不足比率は、議会代表を含む監査委員に審査していただき全ての指標で早期健全化基準を下回る結果となり「健全である」との意見をいただいています。

〔濱田〕 出費の抑制をするために、町が行う新たな事業は本当に多くの町民のためになるのかどうかを検討しなければなりません。例えば、今年度建設予定の弓削海苔の加工場建設は、果たして多くの町民のためになるのでしょうか。海苔業者は年々減り続けて現在4件ほどだと聞いております。そのために大金を投入すれば、やりたいことを我慢し身を切る想いで予算を組んでいる各部署の現場は納得いくのでしょうか。

とはいえ町も多くの議員も賛成した訳ですから、後にこの事業に大金を投入したことが正解だったと思える結果が出ることを願っております。では、この施策が海苔関係者以外の残り6千人以上の町民にどのような効果・メリットがありますか。

〔町長〕 弓削海苔加工場は上島町にとって大事な施策の一つで、上島町の経済力・体力を上げるためです。一部の人の対応するのではなくて、従業員が雇用される、働く場ができる、その経済力によって上島町が発展していくという事を頭に入れて対応しております。この計画は、国ともしっかりと協議しており上島町のために最も重要な施策の一つです。

〔濱田〕 「国や県が多くを負担するので町の実質負担はわずかだ」と言うそのわずかなお金は、町の各部署が我慢し切り詰めたがらのお金だということを理解し、町民が納得のいく施策のために適正にお金が使われているかどうかをこれからも検証していきたいと考えています。

〔町長〕 合併時、4町村の借金約150億円が残り100億円になりました。このように実際に財政運営をしています。借金を一気に減らす方法は、事業を一切やらないこと。大きな事業、道路もやらなければ、港も整備しない。でも、それにより雇用が確保されている人たちの生活が成り立たなくなります。ですから、借り入れしてでも、経済を上手く回しながらやっていくのが行政の私達、議会の皆様方の仕事であります。



一般質問 4 番目

徳岡 誠 議員

## 上島町と弓削商船 高専の連携について

「徳岡」少子化において、全国的に高専も少しずつ合併が進んでおり、弓削高と共に弓削商船の存続も真剣に考える必要があります。私は弓削商船を守るための大きな要素として、上島町との密接度合いが国への重要なアピールになると考えています。

そこで質問いたします。上島町として今後、弓削商船との連携支援をどのように考えるのかお答え願います。

「町長」弓削商船の存在価値については、誰よりも認識しているつもりです。

平成19年に両者で円滑かつ密接な連携のもと相互に協力し、地域の振興・発展、教育研究の充実及び人材育成に寄与することを目的に「連携協力に関する協定書」も締結しています。

基本的には年に一度、両者の連絡協議会において、お互いの状況報告・確認事項、要望事項等についての協議を行っており、必要に応じて情報交換を行い、さまざまな連携事業等を実施しています。

また、国土交通省や関係機関との協議の場においても、国内

船員の養成の重要さやDXへの取り組みをお伝えし、弓削商船高等専門学校の重要さを機会ある毎に国に訴え続けており、上島町においても、今後も弓削商船高等専門学校との連携をより密接にしなから、両者が共に発展していけるよう努めてまいります。

## 小学生から高専生を対象とする政策について

「徳岡」町長の選挙公約に、「高年齢者のバスの無料化」、「保育料無償化」があります。私は上島町存続にあたり、子どもたち・子育て世代を重要だと考えています。

そこで質問です。公約の空白世代である小学生から高専生までの子供に対する政策、子育て支援について、お考えがあればお答え下さい。

私は例として全ての子どもた

ちに有効なWiFi料金の補助等の支援があれば有難いと思っております。また、来年更新時期であるタブレット端末の更新費用の件もお願いいたします。

「町長」小学生から高専生までの子供に対しての支援は、現在、医療費無料化、インフルエンザ予防接種助成、自転車ヘルメットの支給、スポーツ少年団育成補助、放課後児童クラブ事業、スクールバス運行、小・中学校体育文化補助、英語検定料受験補助、中学校部活動補助、給食費支援、通学費補助や入学祝い金などを含む弓削高等学校振興対策事業補助、公営塾運営、高校・大学等進学のためのゆめしま奨学金制度、などを実施しています。今後も将来への投資と

言える子育て支援にしっかりと取り組んでまいります。

タブレットは令和2年度に全児童生徒に対して一人一台ずつ配布しております。来年度が更新の年で予算確定後に購入、全児童生徒に配布する予定です。



一般質問 5 番目  
本田 志摩 議員

## デマンド交通始動に伴う町有バス幹線再編の改善策について

〔本田〕令和6年12月3日時点のデマンド交通導入についての骨子案によりますと、運休日は土日祝日、GW、お盆、年末年始とあります。また、在来線の幹線バス再編と記載があります。デマンド交通の運休を幹線バスで補う見込みがあるか前向きな改善見通しを求めます。

〔総務部長〕限られた財源の中で、安定的、持続的に地域公共交通を確保していくため、実装当初は平日のみの運行を考えて

学の時間帯の幹線バスは残し、その間の通院や買い物等をデマンド運行で対応するため、9時～16時の運行時間で設定します。出かける際は、幹線バスとデマンド交通を効率良く組み合わせさせて利用いただくことで利便性が確保できると考えます。

していただければと考えます。今回の骨格案は、意見交換会等を参考にした現時点のもので、再度住民・バス利用者の皆様と意見交換会を行い、地域公共交通会議などで検討を重ね、交通弱者となる方々の移動利便性の向上、生活の足となる移動手段の確保につなげたい。

います。土日祝日の運行は、利用実績や利用者ニーズ、コスト等を考慮して慎重に検討したい考えです。土曜日については、幹線再編の際に現在の15時台までの運行の延長、経路等の見直しについて検討します。

〔本田〕運行時間9～16時について。島外専門医療機関の受診時には6～7時に出掛け、16時以降の帰宅が多く、介護タクシー利用者も同様で、ピーク時には需要が上回ると聞いています。幹線バス再編で利用ニーズとのズレを補える見込みがあるでしょうか。

〔総務部長〕朝・夕の通勤・通

〔本田〕対象地区が上弓削と岩城とあり、この地域を出発しエリア外で降車する際は場所が1か所に限定される計画です。上弓削の自宅で乗車し島外を目標する場合、降車場所の下弓削特別停留所からは路線バスに乗換ええる想定になっています。

現在の路線バスにみられる、船の到着から一時間以上待たなければ乗れないというような不便がないように、バス幹線を再編する認識でよいでしょうか。

〔公営事業課長〕幹線再編の際には現行ダイヤよりも利便性が低下しないよう検討します。幹線ダイヤに合わせてデマンドを予約するなど、上手な使い方を

〔本田〕ドライバーなど人員に関する手当や配置見込みについて伺います。

〔公営事業課長〕ドライバーは、現在の町バスの職員と支線を委託しているの業者を予定。オペレーターの運営費、人件費、デマンド交通システムの導入費で約1千300万円を、初年度車両購入費と運転手の委託費として1千500万円程予定しています。これは予算ベースの金額で、入札の減少金が出るものと考えています。財源は、国の交付金「デジタル田園都市国家構想交付金」を2分の1充てる予定です。



一般質問 6 番目  
尾藤 俊輔 議員

## 企業誘致等の産業振興策について

〔尾藤〕企業誘致、新規創業支援、継続支援に関する各施策の直近の実績、本町としての企業誘致に対する方針、今後の取り組みやターゲットとして想定している業種などご教示ください。

〔町長〕平成26年に企業誘致促進条例を制定し、直近では令和4・5年度に14件、令和6年度は5件の法人設立届が提出されました。新規創業者向けには補助内容を拡充した上島町新規創業者等応援事業を今年度より開始し、9件の申請。中小企業振

興資金融資制度は目標10社に対して14社が利用しました。既存事業者向け支援として32社が中小企業振興利子補給制度を活用。ゆめしま海道開通に伴い町内外の交流機会や本町への進出意欲が高まるなか、引き続き交流人口の活性化や雇用促進に繋がる事業者をターゲットに誘致を進めていきます。

〔尾藤〕成果のある事業については継続・拡大をお願いします。企業誘致促進条例に関して、コロナ禍を経てリモートワークのような働き方が浸透するなか奨励措置等の内容を再考しては。〔町長〕今の時代に合った制度

に少しずつ改善する必要があり。ます。他の自治体を参考に、議会とも意見を交わしながら前向きに進めます。

〔尾藤〕砥部町や伊方町でも実績があるIT企業のサテライトオフィス誘致、誘致企業と弓削商船や弓削高校との人的交流推進など、本町の魅力を高めるための施策を引き続き共に議論していきたいです。

## 選挙公報及び啓発活動について

〔尾藤〕次回以降の選挙に向け選挙公報の発行を検討する流れにあると認識しています。改選を終え、改めて町の見解は。また立候補者による公開討論会の実施やSNSの活用は検討できないでしょうか。

〔総務部長〕選挙公報は有権者、特に若年層の投票率向上に繋がるものと考えており、印刷・配布方法など課題は多いですが、

次回選挙に向けて引き続き検討を進めます。公開討論会は、公平・中立な実施主体により政治活動の一環として行われるものであれば、開催の可否に意見を述べる立場ではありません。課題である若年層の投票率向上に向け、SNSの活用についても選挙管理委員会において議論・検討を行いたい考えです。

〔尾藤〕選挙公報は、新人・現職ともに、政策や実績を伝えるための重要な媒体です。発行について引き続き検討をお願いいたします。有権者がSNSの情報をもとに投票する流れが今後強まるのが想定されるなか、客観性・公平性のある情報発信が非常に重要になってきます。選挙公報に加えて要望があれば公開討論会の開催も受け入れていただきたい。

〔総務部長〕各要望について選挙管理委員会でもしっかりと諮り、投票率が1%でも向上するよう進めてまいります。

# 12月定例会 議案審議

「上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例」から「上島町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」(4件)

令和6年8月の人事院勧告に基づき、国の取り扱いに準じて条例を整備する必要が生じたため、改正案が提出されました。上島町議会議員、上島町特別職上島町職員、上島町フルタイム会計年度任用職員が改訂対象となります。

「令和6年度上島町一般会計補正予算(第4号)」から「令和6年度上島町下水道事業会計補正予算(第2号)」まで(8件)

予算決算委員会への付託は行わず、本会議にて審議・採決を行いました。補正額と補正後累計額は次の表のとおりです。

一般会計の主な変更事業は、  
○後期高齢者医療事業

補正額…970万7千円

○水産物供給基盤機能保全事業

補正額…1千500万円  
○職員人件費  
補正額…3千745万5千円

	補正額	補正後累計額
一般会計	9,300万円	75億3,200万円
特別会計	3,520万円	32億4,240万円
企業会計	320万円	10億2,258万7千円

「愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について」と「愛媛県市町総合事務組合からの構成団体の脱退に伴う財産処分について」

構成団体である津島水道企業団が解散し、令和7年3月31日

をもって共同処理事務構成団体から脱退することに伴い、関係規定を整備する必要が生じたため議案が提出されました。

「上島町教育委員の任命について(再任)」

令和6年11月18日をもって委員の1人が任期満了となり、欠員が生じることとなったため、新たな任命の同意を求めるものです。

教育委員(再任)  
○寺下貴義氏



# 一目でわかる審議結果

令和6年 第4回 上島町議会定例会 (令和6年 12月 10日)

賛成者：○ 反対者：× 欠席者：欠 地方自治法第117条による退場者：—

議案名	議員名											審議結果	
	尾藤 俊輔	宮畑 周平	本田 志摩	徳岡 誠	上村 建太	濱田 和保	徳永 貴久	藤田 徹也	亀井 文男	濱田 高嘉	藏谷 重文		前田 省二
上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議 長	全会一致 原案可決
上島町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
上島町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町介護保険事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町魚島船舶護事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町生名船舶事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町上水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
令和6年度上島町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
愛媛県市町総合事務組合からの構成団体の脱退に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決
上島町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		全会一致 原案可決

12月定例会の後に開かれた議員協議会。主に議員報酬の改定について協議しました。

# 議員協議会

日時：令和6年12月10日  
場所：弓削総合庁舎3階議場  
出席議員：11名（欠席1名）

## 議員報酬の改定について

【解説】令和5年5月から上島町議会は議員報酬改定について町長に数度の要望書を提出し、協議を続行中。議員定数は合併時（平成16年）の18から漸減し現在は12。一方、平成20年の選挙で定数を減らさない代わりとして議員報酬を1割減額した以降もこの減額が継続されている。現在、全国的には議会政治の活性化を目指して議員報酬の増額が進められている。

## ○直近の要望書内容要約

議員が議案を提出すべきとする町長の前回答にあるように議員発議が可能であるものの、上島町特別報酬等審議会（以下、審議会）が報酬額について審議する機関であること、また、報酬増には予算が伴うことに鑑み、審議会と町長の判断による決定が望ましいとして、再考を改めて要望。（令和6年1月18日提出）

こうした中、新人議員を含めこれまでの経緯の確認を行い、改めて意見を述べ合いました。

## ○議員の意見

「尾藤議員」全国的な流れを汲んで、方向性としては上げるべきではないでしょうか。

「宮畑議員」現状の議員報酬は民間でいう高卒初任給より少ないのが現状。職責に相応しいかは疑問です。額については、審議会にかけるのがよいと思います。改定の際は、当然その額に見合う働きが必要です。

「本田議員」審議会があることなので、そこで諮っていたものがよいと思います。

「徳岡議員」財政難でもあり報酬を増額する代わりに他の必要な施策に使われるのがよいと思う。議員は奉仕の気持ちで働き、報酬は全国最低でも誇るべきです。もし見直すなら3年後に。

「上村議員」責任に見合う必要があることから、報酬は上げるべきです。専業が理想であり、

議員活動の専念が可能であるなら、若い時分から経験を積み見聞を広げることが出来ます。

「濱田和保護議員」全国の市町で改定しているケースを参考に、住民に理解を得られるようにすべきです。減額分を戻す時期を失念していたことは問題です。

「藤田議員」議員の半数が入れ替わったことから少し考えるべきです。減額前に額を戻した後、2年に審議会にかける方法や、2年間働いた時点で民意を問う方法が考えられます。どうするか、議長と副議長に一任してはどうかと思えます。

「前田議長」県下どの市町を見ても上げていっています。その状況で審議会も理解を示すのではないのでしょうか。

「藏谷副議長」世界的にも日本の報酬水準が取り残されています。上げるべきでは。

この意見聴取の後、議長と副議長に今後の対応を一任することで議会として同意しました。

## 住民の声

「旗印を上げよう！」

山崎 美和子（弓削地区）



上島町に移住してまだ二年とひよつこの私です。移住のきっかけは「海のそばで働いてみよう」でした。何故なら私は「世界の海をもとのきれいに戻す」が今世のミッションだと勝手に思っています。まっぴらの変なおばちゃんだからです。

ネットの離島求人にあった「上島町」ってどこ？が始まりです。ご縁あつて移住しましたが、当初友人からどんなところなのか尋ねられ、困ったのを覚えています。「ゆめしま海道」「柑橘」「海苔」「多島美」といろいろあつても「上島町といえよ！」というには違う気がしました。

移住する方がいる一方で、人口減少や空き家が目立ちます。「人口ビジョン」という計画書も見てみましたが、住民を増やす方策のメインが何なのか私にはわかりません。島おこし隊の方の頑張りや、

町の子育て世代支援も知っていますが、もつとわかりやすくなければいいのという思いが湧いてきます。

ひとつ大きな旗印を上げることが広くアピールするためには重要です。例えば、サイクリストが増えたら海がきれいになる！というのはどうでしょう？

訪れた方にサイクリングしながらプラゴミ拾いをしていただき、拾ったごみはポイント化でき、貯まったポイントは宿泊券やお買物券になる。するとまた来たいと思ってもらえるかもしれません。ほんの一例ですが、こんな島になつたらいいな、「上島町といえよ」という旗印があつたらいいなというお話でした。甚だ勝手に書かせていただきましたが、今回は貴重な機会をありがとうございました。

## ○3月議会の日程

— 2月 —

26日（水）議会運営委員会

27日（木）全員協議会

— 3月 —

5日（水）定例会

10日（月）予算決算委員会

13日（木）予算決算委員会

定例会（再開）

## ○あなたの声をお寄せください

『議会だより』では、町政や議会に関する町民の皆さまのご意見・ご要望などを募集しています。500字程度で原稿用紙または電子メールで下記にお送りください。

《送り先》

〒愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 210

上島町議会事務局「議会広報委員会」宛

E-mail: gikai@town.kamijima.ehime.jp



## 【表紙の一枚】

上島町の産業シリーズ①

「百貫島沖の海苔網」

撮影：英 真介さん（弓削）

## 編集後記

春の日差しのもと、過ごしやすい日が増えて参りました。今年度の最終号となりました。今号より新広報委員会メンバーで、より皆さまに親しみやすく、わかりやすい紙面になるよう取り組んでまいります。

皆さまのお住まいの地域の行政運営について「知る」を支える手段は、従来の方法だけでなく、いくつか必要ではないかと考えております。

いままさに情報伝達の過渡期ともいえるとき。学生の方々はじめ働く世代にとってより受け取り易い方法はなにか。新たな方法を含めて検討し、試行錯誤してまいりたいと思えます。

ぜひ、きたんのないご意見やご質問をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

今号も皆様のご協力に感謝申し上げます。

本田志摩

## ○議会広報委員会

委員長 藤田徹也

副委員長 宮畑周平

委員 前田省二

委員 本田志摩

徳永貴久

尾藤俊輔